

令和2年9月29日

石狩市長 加藤 龍 幸 様

石狩市下水道事業運営委員会
会長 余 湖 典 昭

石狩市下水道事業経営戦略の策定について（答申）

令和2年6月29日付け石下水第38号で諮問のあったこのこと
について、下記のとおり答申する。

記

中長期的な財政的観点からより効率的・効果的かつ安定的な汚水
処理の実施や、将来にわたり持続する下水道事業を目標として策定
する「石狩市下水道事業経営戦略」は妥当なものと判断する。

今後とも、安定した下水道サービスが提供されるよう、『概ね4年
毎の見直し』と『収支均衡の継続』を基本原則とする本経営戦略に
基づき、各種施策が着実に実施されることを要望する。

なお、審議概要は別紙の通りである。

【審議概要】

公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び個別排水処理施設整備事業の3事業からなる市の下水道事業は、近年の環境変化や施設老朽化など、それぞれが事業運営に課題を抱えている状況にある。

そのため、中長期的な財政的視点により、将来にわたり持続する下水道事業とすることを目標とする「石狩市下水道事業経営戦略」を策定するものである。

本委員会は、市から「石狩市下水道事業経営戦略（案）」について意見を求められたことから、提出された資料等に基づき、下記のとおり慎重に審議を進めた。

- 1 現在の市の下水道事業について、その概要や、経営指標による分析内容、また将来の事業環境の見込みなどについて審議した。
- 2 経営の基本方針と計画期間内における事業実施予定及びその財源の考え方を含めた投資・財政計画（収支計画）を妥当なものと判断した。
- 3 使用料収入や一般会計繰入金その他収入の見込みについて確認し、令和7年度以降、定期的な使用料改定が見込まれていることを確認した。
- 4 『概ね4年毎の見直し』と『収支均衡の継続』を基本原則として各種施策に取り組むことを要望する。
- 5 パブリックコメントは条例に基づき実施されたが、提出された意見はなかったことを確認した。